

{ 昭和34年7月20日 } (毎月10日発行)
第3種郵便物認可

広報



かわにし

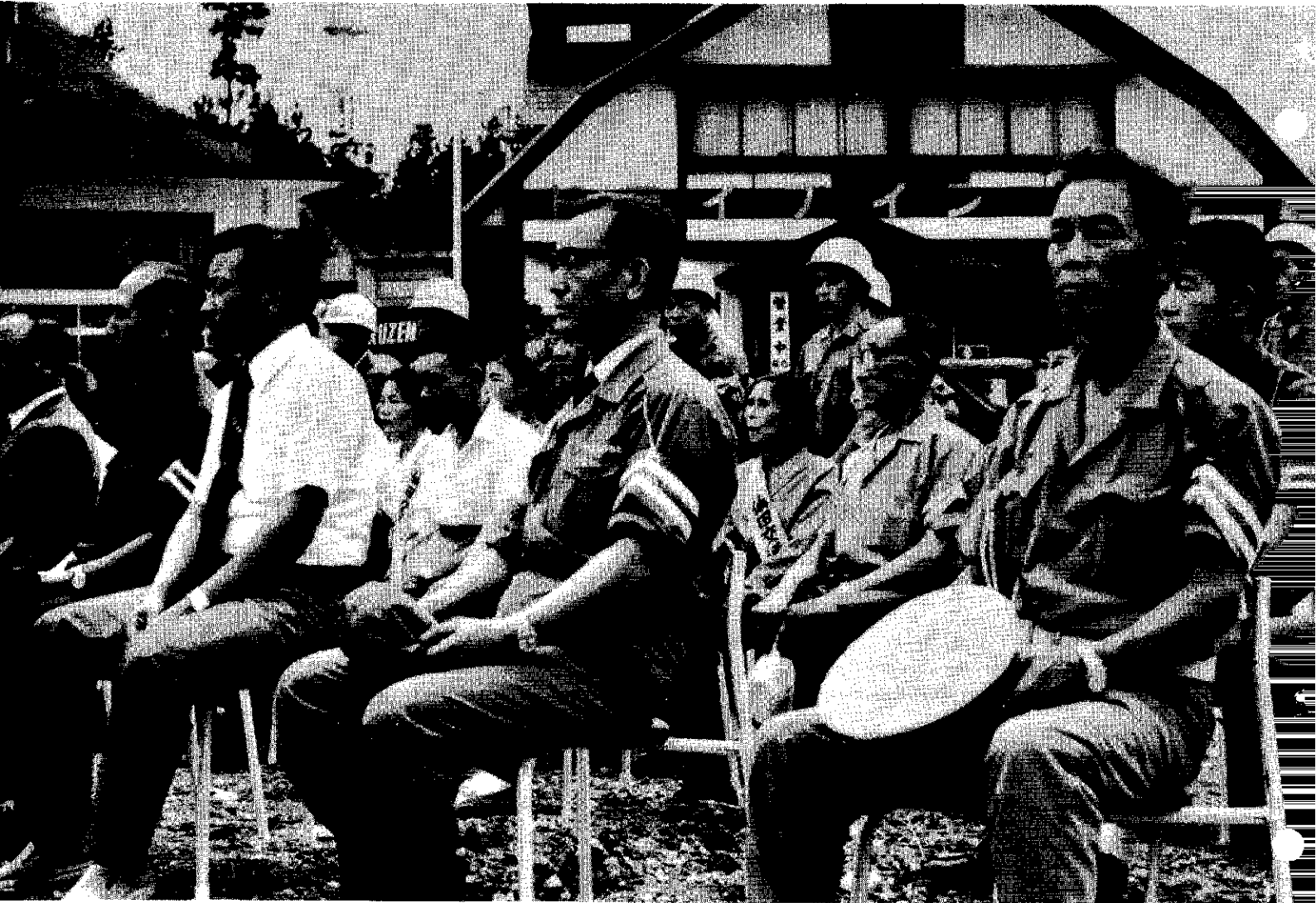
948-01

昭和55年 8/10 No.264

中魚沼郡川西町大字水口沢12番地 (☎02576-8-3111)

発行 町長 根津正三 編集 総務課文書広報係 定価 1部5円 印刷 白南風社

人口の動き	
—8月1日現在—	
男	5,018 (+7)
女	5,070 (+9)
計	10,088 (+16)
世帯数	2,354 (+2)
() 前月比較	



8月の休日救急医

10日	富田	出条	医院	(神明町)
17日	中山	条島	病院	(中条)
24日	大山	島口	医院	(川原町)
31日	山	口	医院	(下条)

9月上旬の予定

7日 千手診療所

緊急交通事故防止対策本部を設置

8月1日 ～ 8月20日

交通事故死の急増に対処するため、十日町市・中魚沼郡の各市町村では対策本部を設置しました。

交通事故を起こさない・遭わない。これはみんなの願いです。

交通安全協会・仙田支部では、先月二十五日に「交通安全祈願祭」をドライブインわきの広場で行いました。

夏は、とかく気持ちが緩みがちになります。

交通ルールを守り、事故のない明るい町を、みんなで築きあげましょう。

「町議会」報告

町議会は、去る二日に臨時会を開きました。これは、町が新過疎法による過疎地域の指定を受けたことに伴う過疎地域振興計画（昭和五十五年より昭和五十九年度まで）の策定について、議会の議決を求めたもので、原案どおり決められました。

「過疎地域振興計画」

総事業費は五十三億九千万円

町は、昭和四十六年に、過疎地域対策緊急措置法による過疎地域の指定を受け、その法律が効力を失った今年の三月三十一日までの十年間に、その制度をフルに活用して、生活基盤や環境の整備などの多くの事業を行って来ました。

振興の基本的な方針

今後の過疎対策としては、地域の実情と特性を生かし、将来にわたって維持できる「魅力ある生産と生活の場」を確保し、より豊かな地域社会を形成することです。

第二次総合開発計画との整合性をしながら、次の三つを基本的な目標とし、産業、民生施設の有効な配置、健全で文化的な総合的環境整備を計画的に進めます。

- ① 生産とくらしを高める産業交通基盤づくり
- ② 健康・安全・快適性を求める環境づくり
- ③ 豊かな個性と創造力をつちかう人づくり

五十五年度の対象事業

○交通通信体系の整備
町道の改良、舗装、林道、除雪

機械車庫建設などに二億一千八百万円余。

○教育文化施設の整備

学校教育関連施設、社会教育施設、体育施設などに二億九千七百万円余。

○生活環境施設及び福祉施設等厚生施設の整備

児童福祉施設、老人福祉施設、水道施設、フラッシュ施設などに二億九千九百万円余。

○産業の振興

基盤整備、経営近代化施設、農村公園整備事業などに一億二千二百万円余。

○その他

災害防止対策などに千三百万円余。

合計十億五千八百万円余りになります。

根津町長

「水資源功労者表彰」を受彰

根津町長は、先月三十一日、東京・千代田区の科学技術館で、国土庁長官から「水資源功労者」として表彰を受けました。

受彰理由は、県営かん排事業、県営は場整備事業などを通じて、水資源行政を推進し、長きにわたって開発・かん養活動に努力したこと。となっています。

町史コーナー

動きの編さん

資料提供者（敬称略）

中島スマ（新町新田）、藤巻寛治（仁田）、斎木利栄（小脇）、山家音平（上野）、高橋友義伊友、小林三作（中仙田）、青木信作（田戸）、星名四郎（上野）

主な提供資料（内西暦）

- ・ 乍恐以書付奉願上候「勘千盗湖に付所払いの願」（七五五年）
- ・ 差上申一札之事「入会山田畑新開禁止の中合せ」（一七七九年）
- ・ 和宮様御下而に付助郷村々書拔写（一八六一年）
- ・ 此度水くれ申証文之事（一七七五年）
- ・ 頼母子年賦預り申証文之事（一八一一年）
- ・ 年季証文等の手本（一八〇六年）
- ・ 御水帳写（一六八三年）
- ・ 星名家記録帳（一七五八年）
- ・ 一八二七

年）ほか今回調査済み二百二十件以上総数四百十九件
（七月末日まで）

庄司山城の栄光

源平の昔、仁田の庄司山（仁田城）に津張庄司太夫宗親という武将が在城した。この人は、戸隠山で鬼女を退治したあと越後へ入ってきた余五將軍維茂平氏の嫡流の一党であったといひ、庄司山と共に、川西町の古代史を解明するために欠くことのできない人物の一人である。

私たちの地方は、源平期以来妻有庄と呼ばれてきたことが多く、妻有をあて字で津張と書くこともあった。庄というのは土地固有時代の私有地のこと、古代日本の制度では身分の高い人に限りその所有が許されていた。したがって余五將軍の配下であった宗親が津張地方を私的に開墾し、のち、格式の高い人に献納した形をとり、莊園のころ本家に次ぐ地位にあった領有者（領家）となって津張庄を司ったようである。

京都で平氏が栄えているころ、越後では城氏が勢力をふるっていた。津張の庄司となった宗親は、平氏の一門である領主の城資長に仕え、のち、資長の弟で領土を継いだ長茂（北蒲・安田町に居城し

今年には調査の当たり年

十月一日 国勢調査に協力を

今年の二月には、農林業センサスの調査が行われましたが、きたる十月一日には、「昭和五十五年国勢調査」が全国いっせいに進行されます。

国勢調査は大正九年、文明国への仲間入りを含む言葉に第一回が実施され、以後五年ごとに続けられて、今回の調査は第十二回目に当たります。

一億一千七百万人 すべての人が対象

国勢調査は、法令によって全国約三千八百万世帯、約一億一千七百万人の方々に調査票を記入していただくことになっています。

九月二十四日から三十日までの間に、約七十五万人の調査員が、それぞれのお宅に調査票の記入のお願いにあらります。

ありのままの申告を

調査票に記入していただくのは、皆さんのお宅にふだん住んでいる



国勢調査
シンボルマーク

様々な問題を具体化

国勢調査は、法律に基づいて国が行う調査で、わが国全体の人口を正確には把握するためばかりでなく、都道府県や市町村ごとの人口、あるいは男女別、年齢別、産業別、職業別などの構成を明らかにするためのものです。

とくに今回の調査は、高齢化社会と言われるわが国の実状、じつ

しん、リターン現象と言われる人口移動の実態、さらに母子家庭、老人世帯などのは握に重点をおき、現在わが国が抱えている様々な問題を具体化し、その解決策を検討するための重要な調査です。

国際的にも重要な意義

今回の国勢調査は、国連のすすめであるアメリカ、イギリス、ソビエト、中国など世界各国が参加する「一九八〇年世界人口・住宅センサス計画」の一環をなすものであり、国際的にも重要な意義を有するものです。

皆さんのご協力をお願いします。

指導員と調査員

国勢調査指導員は、内閣総理大臣が任命し、国勢調査員の指導などにあたります。

国勢調査員も総理大臣が任命します。それぞれ担当の調査区内の各世帯に調査票を配布したり、取り集めや検査を行います。

◆町の指導員（敬称略）

- 南雲虎一（千手地区担当）
- 高橋清松（〃）
- 南雲隆三（上野地区担当）
- 丸山仁吉（橘地区担当）
- 小林政夫（仙田地区担当）

調査票の記入の仕方や、町の調査員の方々にについては次号にて。

た白川庄司越後守に忠勤を励み、寿永元年（一一八二年）、長茂の督促に応じて木曾義仲追討に立ちあがっている。一万騎の大軍を率いた宗親は川西街道を信濃川沿いのぼり、上郷の羽倉を越えて飯山から千曲川に沿って横田ヶ原（篠ノ井）に兵を進めた。

横田ヶ原の合戦は、源平合戦の信越版ともいえる天下分け目の戦いであった。結果は、わずか三千の義仲軍が勝って京都へ進出する第一歩を確保し、宗親の属した城氏は、六万余騎の大軍で戦ったにもかかわらず大敗して平氏滅亡のキッカケとなったのである。

宗親が一万騎を率いたというのはいささかオーバーとしても、当時、それだけの兵を出せる人的な要素が橘地方を中心にあつたこと、その総大将であつた津張庄司が、庄司山を根城に勢力を張っていたことは確かであろう。

幾星霜が過ぎて、時代も貞和年中（一二四五～四九年）に入ると

庄司山には太田長保が居城した。

長保は脇屋義治（節黒城を築いた新田義宗の叔父）に従って歴戦するが、義治の戦死後は庄司山に引きこもり、領民に血も涙もない酷政を強いた。このため、圧政に耐えかねた五百軒余りの民家がことごとく城下を脱走し、残ったのは

戸田、木村、水内、山田、佐藤、小畑、羽鳥、鈴沢、藤原の九軒の百姓だけになってしまった。明徳二年（一二三九年）、上杉氏に攻められて長保らは自殺し、家臣は許されて民間にくんだり、このときから新田村と呼称した。

太田長保が仕えた脇屋義治自身も、庄司山に居城して庄司を称えたことがあつたというが、その真偽や年代は定かでない。とはいえ、このころは新田一族の勢力が妻有郷を埋めつくしており、義治が庄司となつて公私の権利を主張したとしても、それを拒むことのできる大將は他党にいなかったというところなのであろう。

余談になる。栄光の庄司山城は大永五年（一五二五年）の土砂くずれで寺ヶ崎まで押し流されてしまったこと、それにもう一つ、慶長二年（一五九八年）の検地の際に、新田（しんでん）と区別するため新田村が仁田村と改称されたこと、の二点を書きそえておきたい。



▲仁田の庄司山



▲ おしぼりもどうぞ……

交通指導

シートベルトの着用を

たさいま夏の交通事故防止運動を実施しています。交通安全協会や交通指導員などの関係者の方は、毎日町内を巡回して、交通指導や交通安全の呼びかけを行っています。

夏の交通事故防止運動

ただ今実施中

夏の交通事故防止運動は、七月二十一日から始まって、八月二十日までの間です。

このシーズンは、学校の夏休みの期間でもありますので、家族連れや、県外の若者たちの車が海水浴などへの往復のため、列をなします。子供のとび出しにも十分注意し、安全運転をいたしましょう。

ています。

先月二十六日の午後は国道二五二号線の中仙田地内、今月一日は松葉沢付近で早朝から、交通対策協議会が中心となり、交通指導を行いました。

シートベルトの着用を重点に呼びかけましたが、ほとんどの人が着用していませんでした。使用方法がわからない人もいました。自分の身を守るために大切なことです。ぜひ実行をいたしましょう。

もう一つの効果

シートベルト着用の効果は、事故にあったときの「身体の安全保護」にあることはいままでもありません。

と同時に、ドライバーの「疲労軽減効果」もあります。

日本大学生産工学部の調査によりますと、シートベルトを締めて

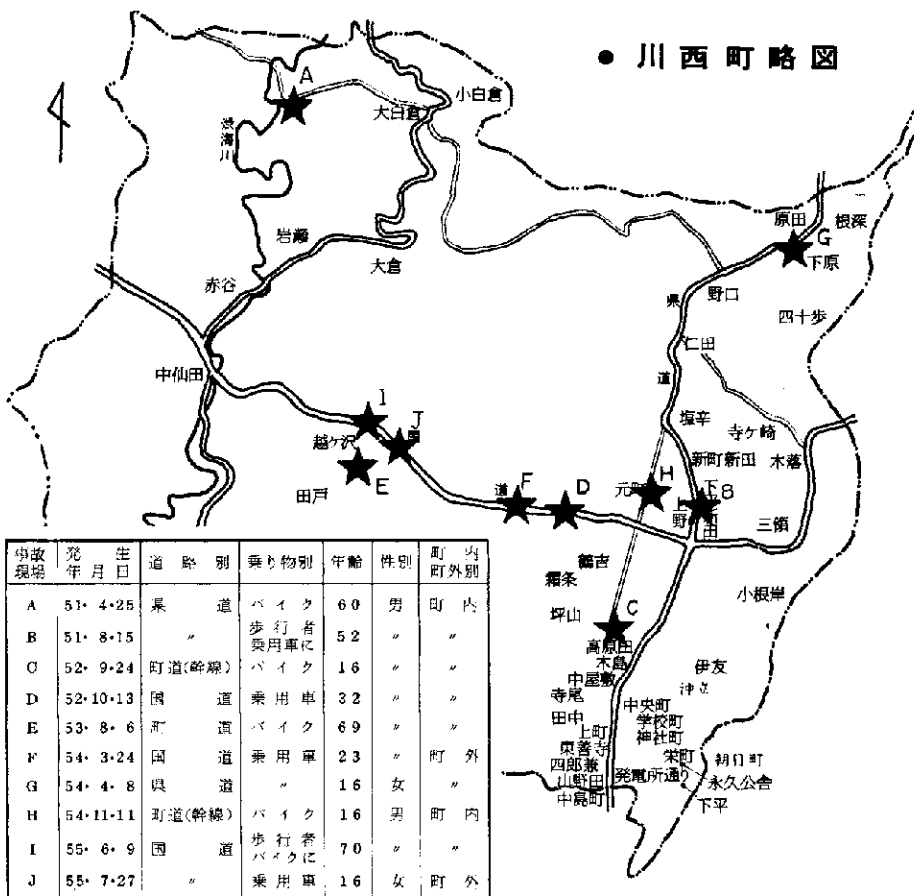
いる場合は、締めていないときに比べて、ドライバーの疲労が「脈拍」や「呼吸数」の関係などにより、二〇パーセントも軽減されるということです。

シートベルトを締めることによって、正しい運転姿勢が保たれ、視界も広がるうえ、疲労が軽減されるのですから、交通事故の防止に効果的であることはいままでもありません。

私の死んだところ

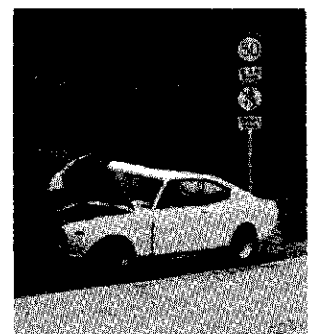
1,000日達成後の交通事故死亡者

● 川西町略図



国道二五二号線 またも死亡事故

町では、昭和五十年七月二日に交通事故死亡事故ゼロ・千日を達成し、その記録を五十二年四月二十四日までの千二百九十八日に延ばしました。しかし、その後死亡事故が多発し、先月十七日、国道二五



▲ 4人の若者が死傷

二五線越ヶ沢地内の死傷事故(写真)を含め、この五年間に十人の若者が尊い命を失っています。

「フラッシュ」いよいよ着工 —モデル事業—

町が52年度から7年計画で実施しようとしている農村総合整備モデル事業の中に、「フラッシュ施設」の整備があります。

先月17日、上新井地内で「フラッシュ施設」の起工式が行われました。

フラッシュ施設とは

「フラッシュ施設」の整備とは、皆さんが、道路の側溝や下水溝に現在家庭排水を流し込んでいますが、地形の関係から、ところどころにたまってしまう、流れが悪くなっています。そこから悪臭が出たり、カヤハエの発生源となり、大変不衛生な状態になっています。この下水のたまる状態をなんとかしたい。それには水を流して掃き清めればよいのではないかと考え、信濃川の水をポンプアップし、このきれいな水によって、側溝や下水溝の下水を流し去ろうという計画のことです。

昔は家の周りの小川にいつもきれいな水が流れていて、ちよつと

計画の概要

した洗い物ができたのが、現在ほまったく不可能です。それがまた復活します。また、いつでも水が流れますので消雪にも役立てることができます。

▶フラッシュ施設の起工式



町内ごとに洗い場 井戸端会議の復活を

この計画の中では、下水測のフラッシュだけでなく、各町内に洗い場の設置を予定しています。幹線パイプから直接パイプで導水したきれいな水を出し、野沢菜や大根などの農産物や、農機具などを洗いに集まる主婦や、農家の人たちが語り合える場として、新しいコミュニティの発生をも期待しています。

この洗い場の利用もいろいろな方法が考えられます。例えば、本来の洗い場として利用するほかに防火水槽への補給用水として防災への利用、部分的ではありますが、緊急に必要性のある消雪などにも使えます。

皆さんのアイデアによって、新しい利用方法を考えていただくこともよいことです。

道路を守る月間

8月は道路を守る月間です。この運動は、道路環境を良好に保つことと、道路の正しい利用、道路愛護思想の普及を目的としています。道路は広く、美しく、安全に使用しましょう。

ねんきん 国民年金委員さんを ご存知ですか？

皆さんのご近所に国民年金委員のシールを玄関口に貼っているお宅があります。

それは、あなたの国民年金について気軽に相談できる「国民年金委員さん」のお宅です。

国民年金委員は、県知事の委嘱を受けて国民年金の仕組や老齢年金、障害年金などのいろいろな相談にのってくださる方です。

「日ごろ、皆さんは「国民年金」のことで分からないことがあっても、「役場が遠くて……」とか「仕事で忙しくて……」などの事情で、ついついそのままになりがちのようです。

役場へお出かけになる前に、お近くの国民年金委員に相談してみたいいかがですか。

国民年金委員（敬称略）

- 宮 徳次郎（東善寺）
- 大溪 晶子（上町）
- 南雲 博（田中町）
- 南雲 良（寺尾）
- 保坂 トシ（沖立）
- 藤本 秀雄（伊友）
- 中村 由蔵（坪山）
- 富井 源蔵（下野）

年金委員さんをご利用
ください。



手続き集
金、相談……

- 押木 喜策（元町）
- 渡貫 栄一（新町新田）
- 高橋 久蔵（三領）
- 山家 清作（木落）
- 小幡 正徳（仁田）
- 村越 利雄（野田）
- 丸山 康一（原田）
- 南雲ハルエ（中仙田）
- 高野寅五郎（室島）
- 斎木 利栄（小脇）
- 高橋 栄一（高倉）
- 茂野 寅一（藤沢）
- 高橋 文治（田戸）
- 登坂 直（赤谷）
- 登坂 六郎（岩瀬）
- 高橋 富治（大白倉）
- 小堀多平治（小白倉）

第10回少年野球大会

優勝旗は千手Aチームに

先月二十六、二十七日の両日、川西中学校と上野小学校のグラウンドで、第十回少年野球大会が行われました。
参加八チームのトーナメント戦の結果、優勝旗は千手Aチームが獲得しました。

上野Aチーム

健闘及ばず

決勝は、千手Aチームと上野Aチームの対戦となりました。
千手Aチームは、全体に小粒ながら、目ごろの練習で鍛えあげ、まとまりがあります。

一方の上野Aチームは、大型クリーナップトリオを擁し、迫力があります。仲嶋投手は、前の二

試合とも完封勝ちです。

二十七日の午後三時十分、決勝戦が始まりました。時々大つぶの雨が降る中でしたが、点を取られたら取り返すという素晴らしいゲームでした。

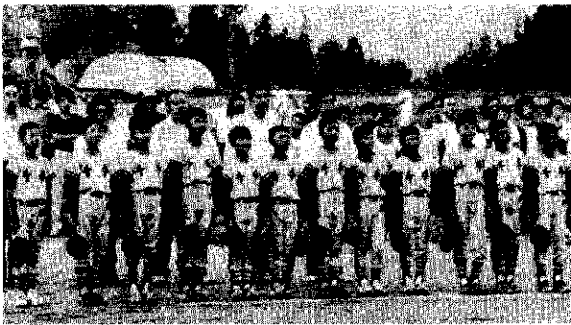
応援の父兄の方々も選手以上にハッスルしていました。

▽決勝戦

千手A	010103	5
上野A	001001	2

ホームランは二本

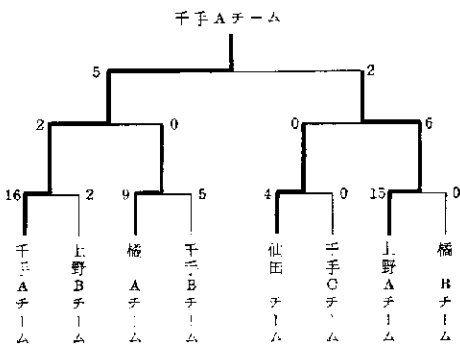
橘Aチームの五十嵐義典君が対千手B戦に、上野Aチームの仲嶋一雄君が対橘B戦に一本ずつアーチをかけ、ホームラン賞を受けました。



▲ 千手小学校Aチーム・校歌斉唱



▲ ホームラン賞の橘A・五十嵐君



▲ 上野A・仲嶋投手



▲ 1回戦第1試合から……タッチアウト

中魚地区大会 小型ポンプの部

赤谷チーム連続優勝

先月二十七日、十日町市で開催された中魚地区ポンプ操法大会で、赤谷チームが小型ポンプの部で見事二年連続優勝をして、八月三十一日に妙高高原町で行われる県大会に出場することになりました。

自動車ポンプの部では、千手チームが二位になりました。

赤谷、千手の両チームは、七月六日の町の予選会で、十五の出場チームの中から選ばれたものです。それから約二十日間、総合体育館の駐車場で特訓に特訓を重ね、地区大会に出場して上位入賞を果たしました。

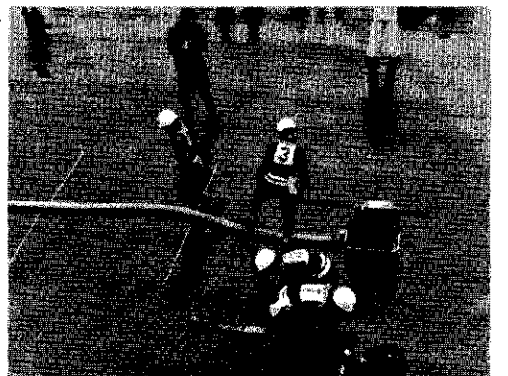
ポンプ操法競技の方法は、四人の選手により、六メートルの吸水をつけ、とびを構えて放水までのタイムと態度などに、点数をつけ

▶ 町の予選会より

て順位を決めるものです。火災現場では一分一秒を争います。このときの操作の基礎となるものです。春と秋の消防演習には、三台の消防車と三十六台の小型ポンプの操法を行い、火災出動に備えています。

赤谷チームは、県大会での優勝を目指して、お盆休みも返上で約一か月の間の訓練を続けることになりました。

皆さんの声援をお願いします。



県青年大会 5種目に出場

県青年大会は、八月二十三・二十四日に弥彦村で開かれますが、町からは五種目に出場します。
これは、先月二十日、柏崎市で中魚地区予選が行われ、そこで選ばれたものなどです。
バレーボール・バドミントン・野球・卓球・陸上の各種目に出場です。

皆さんも応援を!!

五十六年歌会始

お題は「音」

昭和五十六年歌会始のお題は、「音」と定められました。おとのほかに、おん、ね、響きなどと詠んでも差し支えありません。詠進要領は次のとおりです。

一 自作の歌で一人一首（未発表）
二 用紙は、半紙とし、毛筆で自書のこと。病氣、身体障害のため代筆が必要の人は、その理由書を添付のこと。

三 半紙は二つ折りにし、右半面にお題と歌、左半面に郵便番号、住所、氏名（ふりがな付き）、生年月日及び職業を記入。

四 詠進期間、九月一日から十月十一日まで。

五 あて先、〒100 東京都千代田区千代田一番一、宮内庁とし、封筒に「詠進歌」と書き添えること。

皇居の清掃奉仕へ

皇居の勤労奉仕に町内から参加する人は年々多くなっています。今年、二十一人の男女が、六月二十日から五日間、皇居と赤坂御所の清掃に行っていました。

一般参観ではとうてい入ることのできない奥深くまで拝観でき、両陛下・両殿下にお目にかかり、それぞれの言葉をいただき、また、両陛下とご一緒に記念撮影できるなど、奉仕団に参加しなければ遭遇できない多くの経験を、有意義で楽しい行事でした。

色々の批判もありましたが、やはり私たちにとって皇室、皇居は崇敬の的で、一度は参観したいところではないでしょうか。

作業は簡単で、だれにもできますので、今後も多勢の方々が参加されますようお勧めします。来年の募集も、ぼつぼつ始まっています。詳しくは私まで。（皇居勤労奉仕団 小根岸・小海 正太郎 記）



▲ 皇居の奉仕団休憩所前にて——川西町の人たち

戦没者追悼式

十五日・正午 一分間の黙とうを

十五日の全国戦没者追悼式には、皆さんのご家庭でも、半旗を掲げ、一分間の黙とうをお願いします。

正午のサイレンを合図に、町民こそって戦没者のめい福を祈りましょう。

絵はがきの大きさ

絵はがきにはかなり大きなものがあります。郵便はがき（第二種郵便物）として二十円を出せる大きさは、長辺十四・十五センチメートル、短辺九・十・七センチメートルの範囲内となっています。これより大きなものは料金が五十円以上になります。

また、小さすぎるものは郵便物として出せないのに注意してください。

—郵便局から—

ご存知ですか

学校町の北村カツさんは、中魚沼郡内ではただ一人の献体者である。十日町市には四、五人いる。「献体」。聞き慣れない言葉である。新潟白菊会（新潟大学医学部内）では次のように記述している。

私は『白菊会員』です

学校町・北村カツさん



▲ 庭先きで

「私たち人間は、だれもが世の中のおかげを受けている。私たちは何人かのためになることをしたいと考えている。けれども人のためになることは容易でない。しかしこれにもできることがただ一つある。それは、自分が天寿を全うしたあと、自分の体を解剖学実習の教材として、医科または歯科大学に寄贈すること」という。解剖学実習は、人体の構造を知るための勉強で、立派な医師になるための大切な学問である。体を寄贈することは、医学の向上に直接寄与することであり、更には、愛する子孫の健康を守ることにつながる。献体による特典は全くない。北村さんは、昭和五十年の秋こ

ろ白菊会に入会した。何のこだわりもなかったそうだ。会員は県内の人が大部分だが、群馬や静岡の人もいる。今では三百五十人ほどであろうか。毎年、春には総会、秋には献体をした人の慰霊祭が新潟大学内で行われている。学生は大変な心遣いをしてくれたり、ごちそうを振舞ってくれたり。北村さんは一人暮らしであるが、毎日を忙しく過ごしている。春はぜんまいやわらびなどの山菜とり。夏の間は自分の畑はもちろん、小千谷の寺などへも出かけ、草取りをする。草取りのコツはどこに行っても自分の庭だという気持ちで取ることだと語る。きのこの季節ともなると大忙しである。屋根の雪おろしは一人でやる。夜は針仕事を。今年六十七歳である。「生まれてこのかた病気にかったことはない」と言い切る。元気ハツラツの人である。

お風呂の水は午前中に
くぐらんと早く希く

直射日光をさける
扉の開閉は少なく
ひかから20センチはます

よしやすすだれ
カーテンなどで
直射日光をささぐる

電灯はこまめに
消しましょう

クーラーのフィルターや
照明器具の掃除は
月2回はしましょう

冷蔵庫温度は **28℃**に!

テレビを見ないときは消しましょう

レンジーは
鉄道バタ
利用はいい

断熱材を入ると
冷暖房費が節約できます

適当な量をおためて
洗う。すすぎの前に
脱水すれば水も
電気も経済的!!

①お風呂は、沸かし方に工夫を
お風呂の水は、適量を午前中に

③住宅には断熱材の使用を
冷暖房費がかなり節約できます。

相談や審査の申し立てに費用は

採用計画のある事業所は、早めに安定所へ求人申し込みをしてください。

◎發表者 書類選考により選ばれ

魚沼高齢者無料職業紹介所

六十五歳以上の人を主に、就職のあつせん、職業の相談などを行っている魚沼高齢者無料職業紹介所が、先月次のところに移転しました。

○移転先 小出町大字小出島五九

九番地

電話 〇二五七九一一一三十七

七八

十日町橋の交通止

八月二十五日から九月二日まで、午前四時より午前七時の間、車両通行止となります。
また、九月十日午前九時より十一月一日午前九時までは大型車通行止になります。(ただし、バス、マイクローバス、緊急自動車は除きます)

十日町土木事務所

停電

- * 8月20日(水) / 午前9時から正午まで、下平新田。
- * 8月21日(木) / 正午から午後5時まで、中仙田の一部・赤谷・岩瀬・大倉・大白倉・小白倉。
- * 8月26日(火) / 午前9時から午前11時まで、寺尾の一部。
- * 8月28日(木) / 午前8時から正午まで、木落・寺ヶ崎・四十歩・下原。
- * 9月4日(木) / 午後1時から午後5時まで、小脇・高倉。

お知らせ

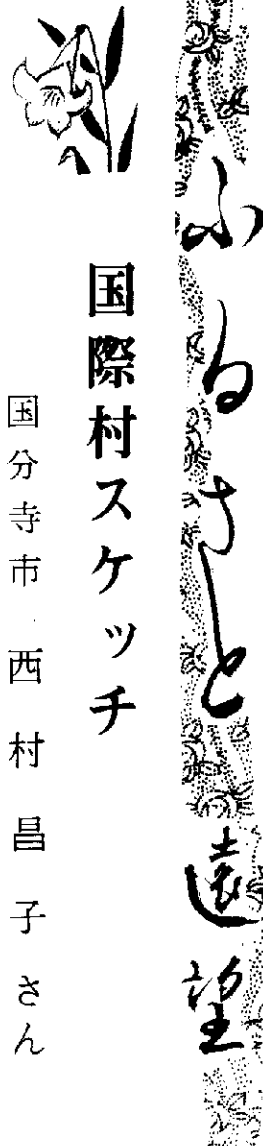
三種混合の予防接種

三種混合(百日ぜき、ジフテリア、破傷風)の予防接種を次の日程で行います。該当する人は忘れずにお出かけください。

◎対象者

一期・五十二年九月一日から五十二年八月三十一日の間に生まれた人
二期・五十二年十月一日から五十二年九月一日の間に生まれた人

二年八月三十一日の間に生まれた人
・今までに受けなかった四歳までの人
※一期の人は、今回三回(九月から十月)接種ですので身体具合を整えて受けてください。二期の人は、これで終わりです。



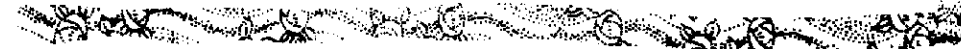
国際村スケッチ

国分寺市 西村 昌子 さん

朝まだき……。下の村から乳白色の霧が上がつて来る。大きな息吹を吐いた山から、郭公の音が聞こえて来る。まるで小説か舞台の設定のようなここに立つ時、都会の喧噪から逃れて来たことをだれに感謝しようかとあたりを見回す。冬の厳しさを残す山肌は、二時間ほど前に車で通った三峠あたりは、雄大な山林を見て来た目には、少しばかり貧弱にさえ見えるが、それはそれで優しく、心を和ませる懐かしい景色である。

「やあ、来なすったね……」
「またよろしく、一週間ほどいすす」。なんて素晴しい、私たちはいつこんな会話を交しただろう……。忘れたようなことがひょっこり顔を出すのも、この村に通うようになってからのことだった。屋根裏の二階で、ガサゴソと犬や娘たちの動きが聞こえて来るのは、それからしばらくしてからのこと……。

村から夫がのんびりと上がつて来る。今朝もまた早々とどこかの家で朝茶などを頂いて来たのだろう、厳しきの消えた顔が畑仕事を始める。
午後の日差しが眠気を呼ぶような時間が過ぎると、だれ言うともなく、夕方には町におそばを食べに行こうと決まる。そうそう、おそばの薬味につくのびるの根は、ビールつまみにするから使わずに持って帰ろうなどと笑い合う。



三種混合・日程表

期	日	時 間	会 場
9月	3日	午後1:30～2:00	総合センター
"	4日	2:00～2:30	橋出張所
"	4日	2:50～3:00	白倉小学校
"	5日	1:30～2:00	母子センター
"	8日	" "	克雪センター
"	9日	2:30～2:40	"
"	24日	1:30～2:00	総合センター
"	25日	2:00～2:30	橋出張所
"	25日	2:50～3:00	白倉小学校
"	26日	1:30～2:00	母子センター
"	29日	" "	克雪センター
"	30日	2:30～3:00	"

十六日と二十七日

ゴミ収集を休みます

皆さんからのご協力により、ゴミ処理業務はスムーズに行われています。これからもよろしくお願ひします。

都合により、次の日は収集業務を休みます。

●八月十六日(土)

●八月二十七日(水)

いずれも「燃えないゴミ」の収集日です。どうしても処理をした場合は、個人で霧谷ゴミ埋立地へ運搬するようお願いいたします。

野口さんぽ

野口 老人クラブ

仮称

諏訪寿園の手入れ

世間話に花が咲く

七月十五日、この日は雨が降ったり止んだり、また、時々強風の吹き荒れるあいにくの天候であった。こんな状況の中、野口老人クラブでは、地区内の諏訪神社、それに地蔵様の掃除などを手分けして行った。

朝八時にそれぞれの持ち場に集合である。ここ、諏訪神社の境内には三千五人くらいが草取りかま、スコップなどを持って集まった。地蔵様の方へは六人が向かったとか……。野口には郵便局の前と、墓地の付近の二か所に地蔵様がある。

野口の老人クラブには約七十人の会員がいる。男の方が二十人、女の方が五十人くらいである。六十歳以上の「会員の資格」のある人は、体の具合の悪い人以外は、ほとんど入っているという。一番の老年寄りは八十八歳で、男・女それぞれ一人ずつ。



▲ 世間話をしながらの草取り

活動の内容としては奉仕的なことが多く、五月から毎年、五月から十月までの半年間は今回のような仕事をやっていくそうである。境内から一段下がったところだが、見晴らしの良い、アール・ド・フランスの平らな

秋、みんなで力を合わせ切り開いた土地に、それぞれが植えたものである。去年の六十本、他にユリなどが植えてある。去年の

八時十五分、いよいよ作業が開始された。雪の切れ目から日が差して来た。力仕事はやはり男の人の担当である。参道から仮称「諏訪寿園」への新道作りに挑戦するのは五、六人の屈強の若手組である。幅二メートル、長さ七メートルくらいの立派な通路が一時開くくらいででき上がった。

その付近は、昔の柏崎街道があったところで、この「諏訪寿園」の場所には茶屋があって、往来の人がしばしば休息したとのことである。村の所有になったのは十年ほど前だという。

草取りは女の人が行う。総勢二十二人、四人である。世間話に花を咲かせながらも、一本の雑草も見逃さない。方々でさわやかな笑い声がする。草を取ったところへは一輪車で土を運ぶ、これは残りの男の人たちだ。いや、もう一人、はしごをかけて道の斜面の草をもくもくとないでいる人がいた。

約二時間くらいで作業が終わった。赤、ピンク、白の花をつけたサツキが五、六本ではあるが鮮やかだった。もう少し空き地があるが、そこにもこの秋には色々のものを植えるという。

また空は暗くなり、風が吹いて来た。これから公民館に行き、お茶を飲みながら懇談するそうである。荒れていたところをみんなでどうしようか考えた結果がこの「諏訪寿園」である。そこをみんなの力で守り育てる。行く行くは素晴らしい憩いの場所になるであろう。

川西プール

お盆はどなたでも

次の日程で川西中学校のプールを一般に開放します。どなたも気軽にご利用ください。

子供さんは必ず保護者と一緒にお出かけ願います。

◆八月十四・十五・十六日の三日間

◆いずれも午前九時から午後一時まで

◆事故のないよう注意しましょう。

◆中屋敷の樋間富雄さんの「トマト」ではなく、ジャガイモです。

ジャガイモ畑全体がこうなっています。異常気象のせいでしょうか？

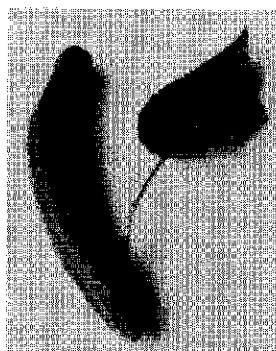


珍物紹介

▼ 鶴吉では、庚申塔を掘りかえしたところ、三本のチョウシとサカズキが一つ出てきました。サカズキの裏には「弥彦みのや旅館」と書いてありました。



▶ 中仙田の小林正人さんは、こんなキエウリを生産しました。いかにもイキがよさそうです。



チビッコ集合!!

来てください。一般図書の利用もどうぞ。

◎貸し出し日 毎月第一・第三水曜日

◎時間 午後三時から四時三十分までに総合センターへ

公民館では、七月から次により児童図書の貸し出しを行っています。絵本、伝記、課題図書、推薦図書がたくさんあります。家族みんなで本を読みましよう。幼児は、お家の方と一緒に

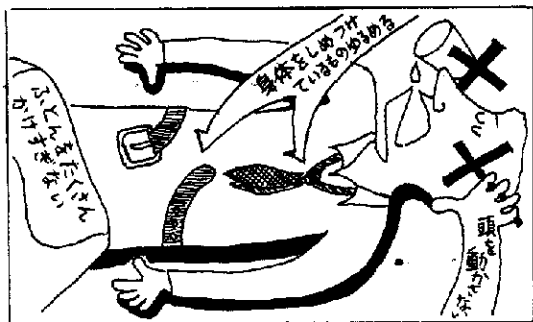
くしんんん

- 1 絶対安静にして、できるだけ早く医師を迎える。
- 2 高くないまくらで、首が曲がらないようにして、楽な姿勢で寝かせる。
- 3 身体、特に首を締めつけている衣類は取り除く。
- 4 吐くことが多いので、

脳卒中を起したら

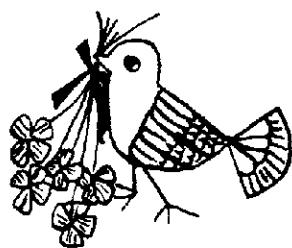
発作的に、めまい、頭痛、舌のもつれ、手足のしびれが起つたら、たとえ軽くても脳卒中の前駆症状の疑いがありますので、安静にして医師の診療を求め、その指示に従う必要があります。

脳卒中の発作が起つたら



- 5 頭を横に向けて、吐いたものが気管に入らないようにする。
- 6 失禁する場合があるので、しゅびん、おむつをあてがう。
- 7 意識のない間、絶対に口から物を与えてはいけません。
- 8 意識不明の病人を、大声で呼んだり、身体を揺り動かしたりしないこと。
- 9 病室は薄暗くし、病人に無用の刺激を与えない。

善意



次の善意が社会福祉協議会に寄せられました。

※父吉太郎さんが亡くなられた田中英雄さん(発電所通) から二万円

※夫義信さんが亡くなられた星名静子さん(沖立) から三万円

※母ヨシさんが亡くなられた大海常男さん(霜条) から三万円

戸籍の窓から

うぶ声—おすこやかに

柳	昌光	和雄	長男	東善寺
樋口	裕美	猛	長女	中仙田
田口	喜彦	喜一	長男	木落
丸山	亮	和夫	長男	中島町
小林	里美	定夫	二女	中仙田
田畑	正樹	誠	二男	元町
小海	絵理	昭	長女	木落
池竹	崇太	利治	三男	原田
佐藤	由梨	久一郎	長女	上野

昇天—ごめい福を祈る

樋口	コノ	中仙田	七四
----	----	-----	----



かわいし 俳壇

太田白南風選

大倉 金子 洋石

- 蟬取りや子等は日向を恐れざる
- 四季のもの咲かせダリヤの今盛り
- 涼み台更けて一人となる広さ
- 帰郷して竹馬の友と踊りたる
- 三領 高橋たかし
- 蟬を曳く蟻群がれる暑さかな
- くちなしの此処まで匂う梅雨の明け

たかさこ—ご円満に

高橋	福次	赤谷	七五
高橋	喜一	大白倉	七五
相崎	信一	沖立	七八
大海	ヨシ	霜条	八一
田中吉太郎	発電所通	八二	
南雲	庄平	木島町	八八

心配ごと相談

- 8月13日.....橋出張所
- 8月20日.....克雪センター

庁内人事

※退職/七月三十一日付
総務課・小川益栄
仙田保育園・根津十久子

7月の交通事故発生件数

件数	死者	傷者	酒気	酒気
3	(1)	11	(8)	
8	(1)	22	(12)	
1	(0)	2	(2)	
0	(0)	3	(1)	
0	(3)	8	(8)	

()内は前年比較

- 8月27日.....総合センター
- 9月3日.....上野連絡所
- 9月10日.....橋出張所

- 梅雨明けの鏡に白き雲うつる
- 年寄の大きなおごり丑の日に
- 赤谷 高橋 笑子
- 水口を下げて今日より土用干し
- どつしりと佐渡が横たう土用波
- 長昼寝祭太鼓を遠く聞き
- 涼しさを添えし昼寝の通り雨
- 中屋敷 山賀 芹子
- 夏燕とび交う空の雨上がる
- 谷川の音遠きかり蟬の声
- 大段の刈り伏せられし道の端
- 岩つばめとび交ひ朝の湖涼し
- 赤谷 登坂 酔月
- 葉草も皆十上がりて土用明け
- 笹の香をうつして土用餅焼くる
- 梅雨続き語り少ななバスの中
- 筆太に土用どじょうと貼りてあり
- 岩瀬 小川 益栄
- 束ねたる刈草にある百合の花
- 夕立に追い立てられて牛洗う
- 露路縫うて金魚売り来る昼下が
- 妻と娘のゆかた並びし衣桁かな
- 中仙田 南川子
- 耕転機音鳴りやみて蛙鳴く
- 朝顔の一輪毎を愛でて居し
- 赤谷 小川 岳陽
- 孫等来て搦く杵軽く土用餅
- うなだれて大ひまわりの咲ける庭